

M7CL V3 Editor for Mac

主なアップデート内容

EditorV3.5.4 for Win/Mac

修正した不具合

- Selected Channel ウィンドウの DYNAMICS で、KEY IN FILTER の Q の表示範囲が M7CL 本体と異なる不具合を修正しました。

EditorV3.5.1 for Win/Mac

修正した不具合

- Output Port ウィンドウで、MONITOR OUT L/R/C チャンネルが割り当てられたポートのディレイタイムやディレイのオン/オフの設定が、実際とは異なって表示される不具合を修正しました。
- Output Port ウィンドウでディレイタイムを数字で直接入力した場合、アンドウできない不具合を修正しました。
- Main View としての Selected Channel ウィンドウで MATRIX チャンネルが選択されている場合、Additional View としての Selected Channel ウィンドウで Send Point を一括で設定できない不具合を修正しました。

EditorV3.5.0 for Win/Mac

新機能

- ユーザー定義キーに割り当て可能な機能として、ALTERNATE FUNCTION を追加しました。
- M7CL 本体の OUTPUT PORT ポップアップウィンドウのように、出力ポートのディレイなどが設定できる OUTPUT PORT ウィンドウを追加しました。

- MIX ウィンドウや ST/MONO ウィンドウでも SENDS ON FADER を使用して MATRIX バスへのセンドを調整できる機能を追加しました。
- MIX バスおよび MATRIX バスに送る信号の送出位置を一括して PRE/POST に設定できる機能を追加しました。
- Selected Channel ウィンドウの TO MIX、TO MATRIX、FROM MIX、ST/MONO にチャンネル名を表示する機能を追加しました。
- CHANNEL LINK ページの LINK PARAMETER の選択肢に ATT を追加しました。
- Overview ウィンドウの EQ/DYN1/DYN2 をダブルクリックすることで Selected Channel ウィンドウが開くようになりました。
- PATCH LIST ページで出力ポートに指定されているすべてのパッチがポップアップメニューでわかるようにしました。
- チャンネル名にカーソルがあるとき、キーでカーソルが移動するようにしました。

改善点

- M7CL-48ES と同期(PC->CONSOLE)を行なうときに、STAGE BOX SETUP の設定を M7CL-48ES に送るかどうかが選択できるようにしました。
- M7CL-48ES では、スロット 1 に挿入した Mini-YGDAI カード(MY16-ES64 など)を通じて SB168-ES などの外部ヘッドアンプを制御する EXTERNAL HA ページを Rack ウィンドウに追加しました。
- Rack ウィンドウの EXT-ES HA ページに VIEW 切り替えボタンを追加しました。
- PATCH LIST ページで出力ポートを複数選択できるようにしました。
- PEQ の Q のパラメーター値が 16 まで対応しました。

修正した不具合

- ユーザーレベル設定で操作が制限されているユーザーが M7CL にログインしているとき、M7CL V3 Editor と接続してオンラインにしても M7CL V3 Editor からの操作が制限されてしまう不具合を修正しました。